

令和4年5月26日

石川県知事 馳 浩 様

住所 鳳珠郡穴水町字乙ヶ崎ホ-53
団体名 能登トキファンクラブ
会長 宮下源一郎
TEL：0768-52-2000

能登に於けるトキ放鳥実現に関する要望書

謹啓

石川県ではトキ分散飼育やトキ里山館の整備によるトキ一般公開など環境省が進める佐渡でのトキ放鳥に全面的に協力してきました。馳浩知事は県の今日までの努力に共感し、トキ放鳥を選挙公約とするとともに知事に就任するや4月17日には環境副大臣に公募を伝え、5月6日には県と宝達志水町以北の9市町及び農業団体、林業団体、商工団体、旅行業団体などによる「能登トキ放鳥受入推進協議会」を設立、5月16日には県と「能登トキ放鳥受入推進協議会」で正式に環境大臣に対し公募に応じる申請をされました、その迅速で俊敏な行動力と判断力には敬服いたします。

能登トキファンクラブは本州最後のトキが生息していた能登半島でのトキ放鳥を目指すボランティア団体で令和3年10月8日に設立し、1月8日には「トキ能里を思うシンポジウム」を5月14日にはセミナー「飼育ケージから見えたトキの生態を」を開催しました。

環境省では本州でのトキ放鳥受け入れ自治体を5月10日から6月30日の期間に公募、8月上旬には放鳥候補地を決定するとしています。

そこで候補地として認可されることを想定して、下記の通り要望しますので、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 年に1回程度、県は公聴会を開き進捗状況報告及び地元意見を調取し、計画に反映すること
2. 専門委員会を設置し、環境省と連携して関連分野毎に受入れに必要な準備を行うこと
3. 専門委員会の協力で県独自の2030トキ放鳥ロードマップを作成して関係自治体・民間団体等に示し、受入準備を積極的に進めること
4. 専門委員会のメンバーを含め広くトキに関するマイスターを組織し、自治体及び民間団体などの要請に応じて派遣できる体制を整えること
5. 放鳥地域の中での営巣・餌場適地などを明確に示し、生息環境の維持・整備を図ること
6. 風力発電施設などが生息環境に影響を及ぼすことが懸念されていますが、他に道路建設や太陽光発電所など大規模な土地開発などによりトキの生息環境に影響を及ぼす可能性のある開発については一定の基準を設け、影響の度合いを予測し、基準に照らして評価すること
7. 環境省佐渡自然保護官事務所公式SNS（Facebook, Twitterなど）及び環境省が提供している佐渡島における報告などを県HPへも間断なく掲示し、民間ボランティア団体でもその活動に使用できるようにすること

以上

能登トキファンクラブは他民間団体及び自治体などと協力しトキ放鳥と放鳥後のトキの保護活動の支援をして行くことをお約束し要望の結びとします。

要望書提出の様子



トキ放鳥実現へ
県独自の行程表を
ファンクラブが要望

能登トキファンクラブの
宮下源一郎会長（写真右）
らは26日、県庁に馳浩知事
を訪ね、放鳥実現に向け県
独自の行程表を作成し、準
備を積極的に進めるよう求
める要望書を提出した。馳
知事は「全庁的に受け止め
て検討する」と応じた。

専門委員会やマイスター
制度を設け、市町、民間団
体などに人材を派遣できる
体制を整えることも提案し
た。宮下会長は「大きな組
織をつくって保護活動に尽
力したい」と話した。中村
県議が同行した。





馳浩知事(右)に要望書を手渡す宮下源一郎会長(左) 県庁で



トキ放鳥「進捗報告を」

穴水の団体 馳知事に要望書

能登地方でのトキ放鳥を
目指す穴水町のボランティア
ア団体「能登トキファンク
ラブ」の宮下源一郎会長ら
七人が二十六日、県庁を訪
れ、馳浩知事に要望書を提
出した。

要望書では▽年に一度の

進捗状況の報告や地元の見聞き取ること▽県独自のロードマップの策定▽風力発電施設、太陽光発電所などの大規模な土地開発に一定の基準を設け評価することなど一七点を求めた。



放鳥実現に向け、六日には県や能登四市五町、関係団体でつくる協議会が設立。

馳知事も十六日に関係市町の首長と環境省を訪れ、国が始めた放鳥候補地の公募への応募申請を行っている。馳知事は「全庁的にしっかりと受け止め、検討していきたい」と話した。

(小川祥)